

▽発電事業による年間売上は200億！提示している地域貢献策の予算はその0.15%?!
長崎県と佐世保市は年間数十億円以上の税収増！でも、全部取り上げて地元へ還元は無し・・・
えっ！これが共存共栄ですか？“僅かな資金、巨大な負担”でどうやって島を活性化させるの？島に何か魅力は残りますか？この先ずっと住みたいと思える理由が見当たりますか？

▽メガソーラー事業についてご存じですか？

- ▼地権者の比率 島内4：5 島外
- ▼営農型パネル配置は全体の1割程度
- ▼荒地の整備にはなりません。伐採するのみ。
- ▼いつの間にか事業期間35年に。延長もあり。
- ▼30～50mの高圧鉄塔37基、電柱2100本設置
- ▼島の1/4に係る大開発でも環境影響審査不要？
- ▼長崎大学や当会の住民アンケートでは7割以上が計画に反対。推進嘆願書は7割の世帯が署名？
- ▼2018年佐世保市と事業者は事前協議を行い協定書の作成を約束。市はこれまで事業推進に動いて来ましたが、未だに肝心の協定書は未締結です。
- ▼事業の認可や責任は転売するうちに、その所在が不明に。いくつも会社を設立し意図的に契約をうやむやにすることが各地で問題になっています。



出典：長崎新聞 伊

海底ケーブル設置に県北漁業組合は11漁協中10の漁協が断固反対を表明！既に話がついているのか、地元の宇久小値賀漁協のみ無回答・・・計画を見直すことなく強引に着工しようとしています。組合の認可が下りずに送電できなければ巨額の損失を抱えて会社は破産します。その時も事業者はちゃんと責任取ってくれますか？

宇久島みらいエネルギー合同会社の資本金25万円 その前身 TeraSol 合同会社の資本金10万円
 資本金からは数千億円の事業を行おうとする企業が信頼と責任をもって設立した会社とは思えません。



以前船越しにあった50m風車

宇久島風力発電所 日本風力株式会社 御尋 紳アーバンデベロップメント

2009年頃住民反対運動により撤退？いえ事業は進行しています！

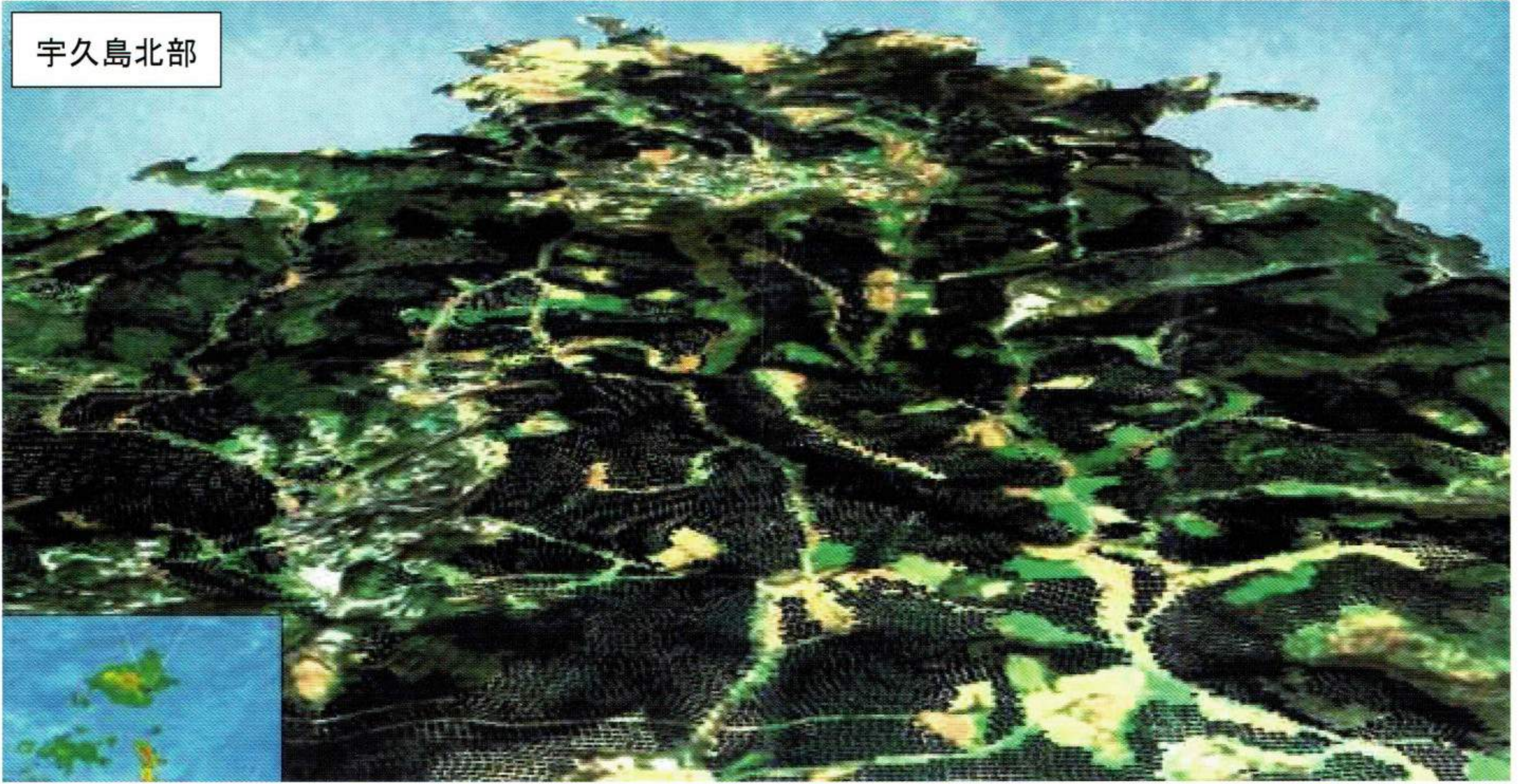
▽島民全体への説明会を行わないまま、いつの間にか送電用海底ケーブル設置済み！

新たな計画では風車を50基→31基に減らすも、各風車のサイズを大きくすることで規模は変わらず100MW。写真の風車の高さ3倍、全高約150mの巨大風車は想像するだけで圧巻です！超低周波やフリッカー現象、騒音など人体や生き物に及ぼす悪影響は最大の懸念材料。世界遺産をかかえる小値賀は景観の悪化から議会決議にて反対！1枚60mの羽、重さ100tの発電部を運ぶには大規模な道路の拡張工事が必須となります。

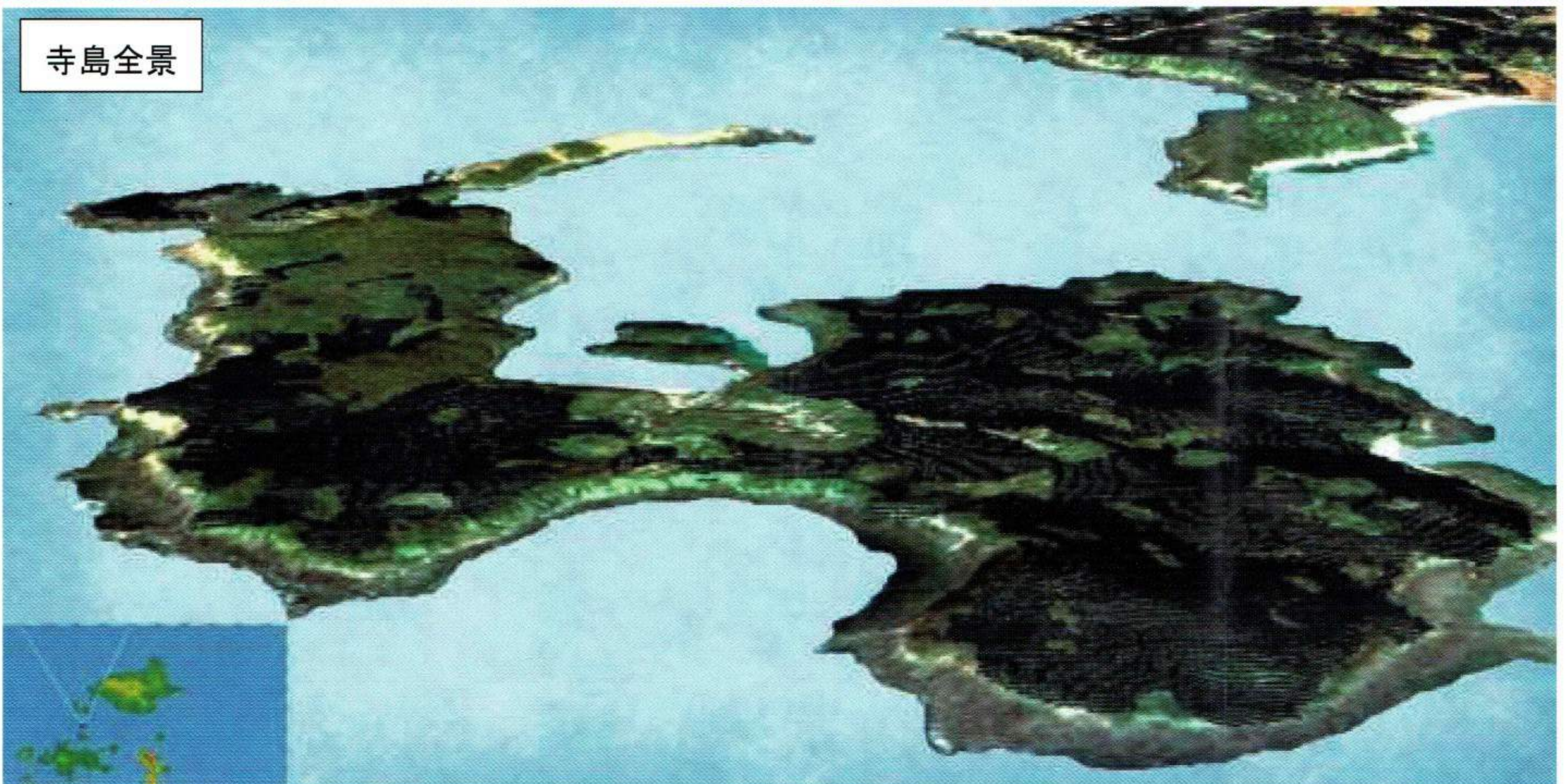
▽風力発電事業は法律により環境アセス（環境影響評価・審議会）が必要です。これ以上勝手なことをさせないよう事業者の動きに注目し、しっかりと意見を述べましょう！

「宇久島の生活を守る会」は島民の安心で充実した生活を未来に渡り守るため、宇久島の全体の利益のために微力ながら活動しています。私達は推進や反対をする団体ではありません。**なぜなら！**①事業者はまず全住民に対し正直に丁寧に計画を説明し②専門家を交えメリットデメリットを議論し③協議を行い④住民に賛否を問う⑤工事が着工すべきだからです。道理に達していませんので、賛成反対の判断ができる状態にありません！私たちはそのことに声を上げています！県や市は重要な問題をほったらかしにしないで、地域行政としての責務を果たす努力をしてください！
 お問い合わせ 57-2096 佐世保市宇久町平 3057 会長 佐々木 浄栄 ※随時会員を募集しています。

宇久島北部



寺島全景



宇久島南部



宇久島寺島メガソーラー完成予想図。画像はイメージです。
(株)データ・マックス（インターネット記事）より出典許可